

修羅天魔

— 髑髏城の七人

極—

装幀 烏井和昌

目次

修羅天魔
— 髑髏城の七人 極 —
7

あとがき
184

上演記録
190

修羅天魔
— 罽𑖅城の七人 極 —

●登場人物

極楽太夫ごくらくたゆう（雑賀のお蘭さいかのか）

天魔王てんまおう／織田信長おだのぶなが

兵庫ひょうご

カンテツ

狸穴二郎衛門まみあなじろうえもん

ぜん三ぜんぞう

夢三郎ゆめざぶろう

沙霧さぎり

三五さんご

贗鉄斎がんでつさい

清十郎せいじゅうろう

〈関東鬪樓党〉

迷企羅の妙声めいきらみょうせい

波夷羅の水神坊はいいらすいじんぼう

宮毘羅の猛突くびらもうとつ

〈無界の人々〉

およし

浅黄あさぎ

無界屋の女達

〈関八州荒武者隊〉

青吉あおきち

白介はくすけ

黒平くろへい

赤蔵あかぞう

黄平次きへいじ

服部半蔵はっとりはんぞう

因原数馬いんばらかずま

鬪樓党鉄機兵

伊賀忍群

— 第一幕 —

我が赴くは修羅の道

【第一景】

天正十八年（一五九〇）初め。関東荒野。

人目を避けるように走ってくる若い女性。

その姿、小袖の上に鎖帷子をつけ股引きに革手甲という男装。山の民風でもある。名を沙霧さぎりという。

と、その前に立ちはだかる黒甲冑の男達。

関東鬪體党かんとくろくどうの鉄機兵達だ。率いるは波夷羅はいらの水神坊すいじんぼうと迷企羅めきらの妙声みょうせい。

水神坊

見つけたぞ、沙霧。

妙声

我ら関東鬪體党をお前のような小娘が出し抜けると思っていたか。さあ、絵図面を出してもらおうか。

沙霧

お断りだよ。

と、短刀を抜く沙霧。幅広で刃の厚い両刃剣だ。

水神坊

この期に及んで手向かいするか。

妙声

いいじゃないか、水神坊。手向かいしようがしまいが、地獄に行くのは決まってるんだ。

沙霧

だったら殺しな。その代わり、絵図面のありかはわからない。

妙声

沙霧

あんたらの城、髑髏城、その絵図面だ。もうすぐ戦が始まるというのに、その絵図面が敵の手に渡っちゃまずい。それで、あたしを血まなこになって探してた。そうだね。

妙声

おう。

沙霧

でもね、絵図面はもうここにはない。ある所に隠してる。あたしが死んでも、豊臣の軍に渡るように手は打つてあるんだよ。

水神坊

なんだと。

沙霧

どうする。それでもあたしを殺すのかい。今、ここで。

水神坊

ええい、小賢しい小娘が。絵図面をどこに隠した。言え、言わねば殺す。

沙霧

人の話聞いてなかった？ 言うと思うか、ばか。

と、そこに現れる野武士の一団。

兵庫、青吉、白介、黒平、赤蔵、黄平次、三五が現れる。いずれも派手ななり。

頭目の兵庫は、背に斬馬刀のような大刀を背負っている。この頃はやりの傾奇者の一群だ。その名も関八州荒武者隊。

兵庫 待った待った待った。その娘は放してもらおうか。

水神坊 なんだ、貴様ら。

兵庫 鬪體党だかなんだか知らねえが、てめえらの横暴で、村は焼け、田んぼも畑も荒らさ

れて、村人達は泣いてるんだ。しかも、か弱い小娘一人を大勢が追いかけて回してると
て耳にしてな。そんな無法は、天が許してもこの俺達が許さねえ。関八州にその名も

高き天天下の荒武者隊。泣く子も黙る傾奇者。関東の筋は俺達に通す！

荒武者隊

おう！

妙声 ふん、ならず者風情が大仰に。

水神坊 身の程を思い知らせてやろう。関東鬪體党、波夷羅の水神坊。

妙声 迷企羅の妙声。

と、二人、得物を構える。

妙声 さあ、かかっておいで、田舎武者。

兵庫 上等だ。やるぞ、お前達！

荒武者隊 へい、兄貴！

襲いかかる鬪體党。応戦する荒武者隊。

兵庫、刀を抜かず鞘のまままで戦っている。

水神坊の得物を鋼はがねの手甲で受ける兵庫。

水神坊 貴様、刀も抜かずに戦おうっていうのか。

兵庫 当たり前だ。鬪體党みてえな外道相手に刀抜くほど落ちぶれちゃいねえ。関八州荒武者隊の頭目、桓武平氏の流れを組んだ、誰が呼んだか抜かすの兵庫様だ！

と、鉄機兵をぶちのめす。

兵庫 女、今のうちに逃げる！

沙霧 うん！

妙声 逃がすなよ、鉄機兵！

沙霧、その隙に逃げようとするが、それを阻む鉄機兵。

と、他の荒武者隊達は鉄機兵にぶちのめされる。

兵庫 お前達！

水神坊 弱い仲間を持つと悲劇だな、田舎武者。

兵庫 ふざけたことを言うんじゃない。俺とそいつらは一心同体。そいつらがいるから俺が

中島かずき（なかしま・かずき）

1959年、福岡県生まれ。舞台の脚本を中心に活動。85年4月『炎のハイバーステップ』より座付作家として「劇団☆新感線」に参加。以来、『髑髏城の七人』『阿修羅城の瞳』『朧の森に棲む鬼』など、“いのうえ歌舞伎”と呼ばれる物語性を重視した脚本を多く生み出す。『アテルイ』で2002年朝日舞台芸術賞・秋元松代賞と第47回岸田國士戯曲賞を受賞。

この作品を上演する場合は、中島かずきの許諾が必要です。

必ず、上演を決定する前に申請して下さい。

(株) ヴィレッジのホームページより【上演許可申請書】をダウンロードの上必要事項に記入して下さいまで郵送してください。
無断の変更などが行われた場合は上演をお断りすることがあります。

送り先：〒160-0022 東京都新宿区新宿3-8-8 新宿 OT ビル 7F
株式会社ヴィレッジ 【上演許可係】宛

<http://www.village-inc.jp/contact01.html#kiyaku>

K. Nakashima Selection Vol. 30 修羅天魔～髑髏城の七人 極

2018年3月7日 初版第1刷印刷

2018年3月17日 初版第1刷発行

著 者 中島かずき

発行者 森下紀夫

発行所 論創社

東京都千代田区神田神保町2-23 北井ビル

電話 03(3264)5254 振替口座 00160-1-155266

印刷・製本 中央精版印刷

ISBN978-4-8460-1707-1 ©2018 Kazuki Nakashima, printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

K. Nakashima Selection

Vol. 1—LOST SEVEN	本体2000円
Vol. 2—阿修羅城の瞳〈2000年版〉	本体1800円
Vol. 3— <small>吉田新太之丞 東海道五十三次地獄旅</small> 踊れ！いんど屋敷	本体1800円
Vol. 4—野獣郎見参	本体1800円
Vol. 5—大江戸ロケット	本体1800円
Vol. 6—アテルイ	本体1800円
Vol. 7—七芒星	本体1800円
Vol. 8—花の紅天狗	本体1800円
Vol. 9—阿修羅城の瞳〈2003年版〉	本体1800円
Vol. 10—罽鞞城の七人 アカドクロ／アオドクロ	本体2000円
Vol. 11—SHIROH	本体1800円
Vol. 12—荒神	本体1600円
Vol. 13—朧の森に棲む鬼	本体1800円
Vol. 14—五右衛門ロック	本体1800円
Vol. 15—蛮幽鬼	本体1800円
Vol. 16—ジャンヌ・ダルク	本体1800円
Vol. 17—罽鞞城の七人 ver.2011	本体1800円
Vol. 18—シレンとラギ	本体1800円
Vol. 19—ZIPANG PUNK 五右衛門ロックⅢ	本体1800円
Vol. 20—真田十勇士	本体1800円
Vol. 21—蒼の乱	本体1800円
Vol. 22—五右衛門vs轟天	本体1800円
Vol. 23—阿弓流為	本体1800円
Vol. 24—No.9 不滅の旋律	本体1800円
Vol. 25—罽鞞城の七人 花	本体1800円
Vol. 26—罽鞞城の七人 鳥	本体1800円
Vol. 27—罽鞞城の七人 風	本体1800円
Vol. 28—罽鞞城の七人 月	本体1800円
Vol. 29—戯伝写楽	本体1600円